

組織名	中野市政策研究所
-----	----------

1 組織概要

所在地	長野県中野市三好町一丁目3番19号
TEL	0269-22-2111(代表)
FAX	0269-26-0349
URL	http://www.city.nakano.nagano.jp/docs/2017052500042/
e-mail	slab@city.nakano.nagano.jp
設立	2017年4月1日
設置都市等	長野県中野市
代表者	横田 清一(所長/副市長)

2 組織動向

(1) 沿革

設置経緯	これからの中野市を担う若手職員の人材育成と、市政に関する総合的な研究をおこなうための組織として設置
見直しの動向	—
役割(2018年時点)	市の課題解決に向けた各種データや情報の収集・分析・調査研究などを行い、政策判断のバックデータとするほか、具体的施策や事業の提案を行う。

(2) 組織体制

設置形態(択一)	<input checked="" type="checkbox"/> 自治体の内部組織 <input type="checkbox"/> 常設の任意団体(提言等を行う会議体型の団体も含む) <input type="checkbox"/> 公益法人(財団法人・社団法人) <input type="checkbox"/> 大学の附置機関 <input type="checkbox"/> 広域連合 <input type="checkbox"/> その他(具体的に:)
常勤職員数	0人
うち常勤研究員数	0人
非常勤研究員数	9人
専門性確保に関する特徴(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 専門的な知識を有した研究員の採用 <input checked="" type="checkbox"/> 外部有識者の活用(研究員として採用した者を除く) <input type="checkbox"/> 大学・非営利活動法人等と連携した研究の実施 <input type="checkbox"/> 設置市の企画部署と連携した研究の実施 <input type="checkbox"/> 設置市の関係部署と連携した研究の実施 <input type="checkbox"/> その他(具体的に:) <input type="checkbox"/> 特に行っていない
庶務体制	事務局(総務部政策情報課)で行っている。
市民参加、外部連携	特になし

組織名	中野市政策研究所
-----	----------

(3) 会計

会計規模※人件費・間接費(オフィス賃借料、水道光熱費等)は含まない

2018年度予算	3,785	千円
2017年度決算	1,192	千円
2016年度決算	0	千円

自治体の内部組織以外の団体の場合の事業活動収入の主な内訳 (多い順に選択)	順位	収入種別
	1位	
2位		
3位		
4位		

自治体の内部組織の場合の事業活動収入の主な内訳 (多い順に選択)	順位	収入種別
	1位	設置部局の予算
2位		
3位		
4位		

3 活動動向

(1) 活動実績

定期刊行物	現時点ではなし
-------	---------

(2) 活動のマネジメント状況

ア テーマ決定 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 設置市からの要請 <input type="checkbox"/> 外部有識者等からの助言・示唆 <input checked="" type="checkbox"/> 貴団体・組織で、設置市の総合計画等に明記された重要課題から選択 <input checked="" type="checkbox"/> 貴団体・組織で自ら発案 <input checked="" type="checkbox"/> その他(具体的に: 庁内より課題や研究テーマを公募)
イ 情報発信 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 設置市の議員や幹部職員に、報告や提言を行う <input type="checkbox"/> 設置市の関係部署に、報告や提言を行う <input type="checkbox"/> 設置市の庁内の広範囲に、成果物を配布する <input checked="" type="checkbox"/> 報告会を実施する <input checked="" type="checkbox"/> 日常的活動を、HP・メールマガジン・ニューズレター等で周知する <input type="checkbox"/> その他(具体的に: 2年分の研究内容及びアドバイザーからの寄稿文等をまとめた書籍の発行) <input checked="" type="checkbox"/> 特に行っていない
ウ 活動の評価とその反映 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 設置市の行政評価制度により評価を受けている <input type="checkbox"/> 運営委員会等、貴団体・組織の運営に関わる機関から評価を受けている <input type="checkbox"/> 外部有識者から評価を受けている <input checked="" type="checkbox"/> 報告会・アンケート等の機会を設けて、評価を受けている <input type="checkbox"/> その他(具体的に:) <input type="checkbox"/> 特にそういう機会はない

4 特記事項

研究員の業務分担	1つの研究テーマごとに、研究員3名及び事務局員1名の計4名のチームを形成し、調査研究を行っている。
研究員の専門性育成の手立て	外部有識者(政策アドバイザー)等による指導 先進地自治体への視察、各種セミナーへの参加等による知識蓄積、情報交換、人材交流
研究員のキャリアパス等	
その他	特になし

組織名	中野市政策研究所
-----	----------

5 2018年度に実施した調査研究

調査研究名	調査研究の概要
地域コミュニティの現状と課題	<p>中野市の地域コミュニティのあるべき姿を見出すためには、各地区で抱えている課題を分析し対応策について研究し地域コミュニティの時代に即した形態や取り組みを探る必要があると考え、中野市内の地区を数値化し分析、各行政区の課題を調査し各地域の問題を洗い出し対応策などを提示する。</p> <p>※「地域コミュニティ」とは、行政区において、住民が協働して共通の課題・問題を解決する、世帯を最小単位とした人々の集合である。</p> <p>https://www.city.nakano.nagano.jp/docs/2019032900033/</p>
若者のUターン促進に関する研究～ゆとり世代のゆとりある暮らし～	<p>中野市では、人口減少が喫緊の課題となっており、その要因として、出生率の低下等による自然減のほか、進学・就職を機に若者世代を中心に市外へ流出している社会減が大きく影響している。この課題に対応していくためには、ある程度限界のある人口の自然増のほかに、社会増の実現は必要不可欠である。社会増を実現させる方法として、本市出身者のUターン促進による転入者増及び転出者減を中長期的に実現することが有効と考え、本研究では、近年当市で転出超過が顕著な20歳代のいわゆる「ゆとり世代」にターゲットに絞り、「ゆとり世代はライフスタイルの中にも金銭的、時間的、精神的、空間的といった、生活の様々な場面で余裕のある暮らしをもとめるのではないか」という仮説に基づき、若年層のUターン促進の方法を探ることを目的とする。</p> <p>https://www.city.nakano.nagano.jp/docs/2019032900033/</p>
中野市の子育て環境に関する調査研究～もっと子育てしやすいまちへ～	<p>本研究の目的は中野市の子育て環境を明らかにし、その環境の更なる充実を目指すことである。中野市の子育てに関するデータ(統計データ、昨年度実施の子育て環境に関するアンケート等を利用)を収集・分析することで、「本当はもう一人欲しい」というニーズを満たすための背景が見えてくる。共働き世帯が増加する中、保育の受け皿の拡充策として期待される企業主導型保育事業の市内企業調査の実施や、先進事例を通して中野市に合う子育て環境の施策の提案を行う。</p> <p>https://www.city.nakano.nagano.jp/docs/2019032900033/</p>